

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画  事業化  事業  管理

個07事11

政策名	1 グローバルロジスティクスの港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 振興課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化	事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7835 企画担当、港湾利用高度化担当
個別施策名	07 ポートマーケティング機能を強化する					
事務事業名	11 国内ポートマーケティング・ポートセールスの実施	継続	拡大	維持	事業期間	昭和58年度～継続
目的	有益な情報を収集し、効果的なビジネスチャンスを得ることにより、名古屋港の貿易拡大を図ります。				根拠法令等	
概要	企業訪問、名古屋港説明会、名古屋港利用者懇談会等を開催し、各企業の貿易情報、利用港の把握をするとともに、名古屋港のセールスを行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	石川県、福井県、岐阜県を対象に企業訪問及び名古屋港説明会を実施し、名古屋港利用者懇談会も開催します。				関連シート	個07事04「企業訪問の推進」、個07事05「名古屋港説明会の開催」、個07事06「名古屋港利用者懇談会の開催」をこの事務事業に整理統合しました。

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	石川県、福井県、岐阜県を対象に企業訪問及び名古屋港説明会を実施し、名古屋港利用者懇談会も開催しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	2,881	3,577	3,104	4,347	3,823	(款項目節) 名古屋港利用促進協議会を中心に支出
一般会計	千円	2,881	3,577	3,104	4,347	3,823	(算出計算式) 本事業費は、名古屋港利用促進協議会から支出されますので、事業費総計額を同協議会における本組合の負担割合で按分したものを本組合の負担分(一般会計)として計上しています。
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	27,801	27,205	26,885	27,325	27,630	(その他) 事業統合により事業費、人件費も統合されています。
正規職員	人	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	30,682	30,782	29,989	31,672	31,453	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
企業訪問、説明会、懇談会の合計開催回数(回)	目標	-	-	3	3	3		3	21年度末に3つの事務事業が統合となったため、指標を見直しました。
	実績	-	3	3	3	3			
	達成率(単年度%)	-	-	100.0	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
企業訪問数、説明会参加企業数、懇談会参加者数の合計(人)	目標	-	-	440	440	440		440	21年度末に3つの事務事業が統合となったため、指標を見直しました。
	実績	-	577	620	708	716			
	達成率(単年度%)	-	-	140.9	160.9	162.7			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						参加者から好評を得ており、名古屋港のPRIに有効な事業です。また、名古屋港のトータル管理をしている本組合が関与していく必要があります。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						名古屋港の利用者・見込者を対象に実施し、港を売り込むのに貢献しています。開催回数、参加者数ともに目標を達成し、また、関係者の出席・協力のもと、参加者に対して説得力のある事業となっています。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						関係団体との共催のもとに、最小限の必要費用で実施しています。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			中部圏荷主へ、より名古屋港の利用を働きかけていく必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
従来の企業訪問、名古屋港に招いての説明会等の開催に加え、成果拡大に向けて取組方法の多様化を図ります。				